

多自然川づくりの先駆的技術の導入支援

Supporting the introduction of pioneering technologies for nature-oriented river works

河川・海岸グループ 研究員 池田 有希
 水循環・まちづくりグループ グループ長 坂之井 和之
 河川・海岸グループ 研究員 内藤 太輔
 水循環・まちづくりグループ 研究員 伊藤 将文
 生態系グループ 研究員 都築 隆禎
 水循環・まちづくりグループ 研究員 阿部 充
 水循環・まちづくりグループ 研究員 後藤 勝洋

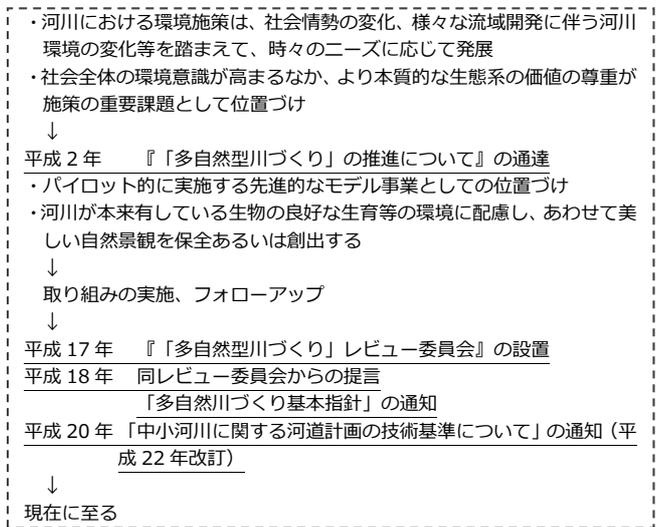
1. はじめに

平成2年から始まった多自然川づくりの推進に合わせて、(公財)リバーフロント研究所では全国の多自然川づくりへの活動支援を継続的に実施している。本報告は平成26年度の支援活動の内容について、報告する。

2. 多自然川づくりの推進

平成2年に『「多自然型川づくり」の推進について』が通達され、河川が本来有している生物の良好な生育等環境に配慮し、あわせて美しい自然景観の保全あるいは創出を目的に「多自然型川づくり」の取り組みが始まった。

この多自然型川づくりのフォローアップを踏まえて、「多自然川づくり基本指針（以下、基本指針）」(平成18年10月)が定められた。その後、中小河川の河道計画の具体的な手法を定めた「中小河川に関する河道計画の技術基準（以下、中小河川技術基準）」(平成20年3月、平成22年8月改訂)が通知された。



図ー1 多自然川づくりの経緯

平成19年からは、基本指針や中小河川技術基準の内容を解説した「多自然川づくりポイントブックシリーズ」が刊行されている。平成23年10月には、河岸、護岸、水際部の計画・設計手法を中心に、これまでのポイントブックの内容にも必要な見直しを加えて、多自然川づくりに関する一連の考え方を解説書として取りまとめた、「多自然川づくりポイントブックⅢ」が刊行された。

基本指針の中で、「多自然川づくり」とは、「河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するために、河川管理を行うこと」とされ、すべての川づくりの基本となっている。

「多自然川づくり」の現場では、中小河川技術基準等を基本としつつも、具体の現場毎にその適用を考慮することが必要であるが、川づくりの技術や知見の普及・適用、多自然川づくりの具体の事例に関する情報共有と人材育成、さらに住民・NPO等との連携などが課題となっている。

3. 多自然川づくりサポーターセンターの活動状況

3-1 多自然川づくりサポーターセンターとは

上記課題に対応するため、現場に対する技術的な支援、市民との連携の強化、川づくりに関する相談窓口、情報共有などを目的として、平成20年2月、(公財)リバーフロント研究所に「多自然川づくりサポートセンター（以下、サポートセンター）」を設置している。サポートセンターの目的は以下のとおりである。

- ①多自然川づくりに関する事例資料・写真等の收集整理
- ②多自然川づくりに関する各種講習会やセミナー等の支援 など

3-2 平成26年度の活動実績

活動開始以来のサポートセンターの活動実績を図-2に示す。

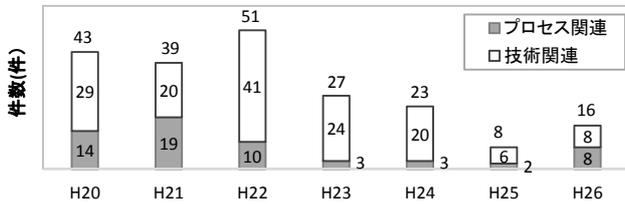


図-2 サポートセンターの活動状況

平成26年度にサポートセンターへ寄せられた相談・依頼は、川づくりのプロセスに関するものが8件、技術に関するものが8件、合計16件であった。

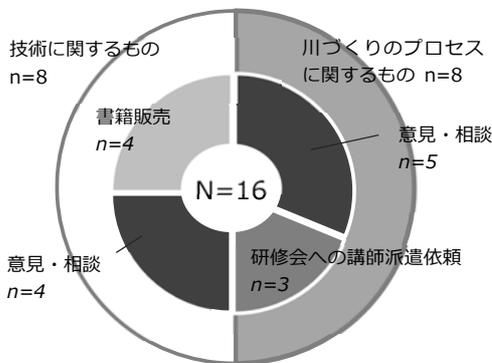


図-3 平成26年度サポートセンターに寄せられた相談・依頼の内訳

相談・依頼者は、河川管理者である行政関係者、河道計画に係る民間技術者、住民 (NPO を含む) など多岐にわたる。

相談・依頼内容は、中小河川技術基準について解説した「多自然川づくりポイントブックⅢ」の内容に関する技術的問い合わせ、及び講師派遣や多自然川づくりに関する取材協力の依頼など、幅広い内容であった。(写真-1～3)

- 辺土名川 多自然川づくり推進ワークショップへの講師派遣 (沖縄県国頭村)
- 岡山県 多自然川づくり上級講座への講師派遣 (岡山県)
- 多自然川づくりに関する取材の協力依頼 (企業)
- 多自然川づくりポイントブックⅢの内容に関する技術的問い合わせ (コンサルタント) など

図-4 平成26年度サポートセンターの活動内容

4. おわりに

サポートセンターの活動は多自然川づくりの普及、川づくりの質の向上の一端を担うものである。

今後はこれまでの経験と蓄積された情報を踏まえて、

技術的な支援を継続していくとともに、多自然川づくりに関する情報発信に努め、さらなる多自然川づくりの普及を図っていくことが重要である。



写真-1 多自然川づくりの研修会への講師派遣



写真-2 多自然川づくりの広報 (多自然川づくりに関する取材協力)



写真-3 市民団体の活動支援 (野川 (東京都))

<参考文献>

- 1) 「環境：多自然川づくり - 国土交通省水管理・国土保全局」
<http://www.mlit.go.jp/river/kankyo/main/kankyou/tashizen/>
- 2) 多自然川づくり研究会：多自然川づくりポイントブックⅢ (2011)